

※東大和市ホームページに教育長日記「青い空に浮かぶ白い雲」を掲載しています。ぜひご覧ください。

教育長日記 (平成29年11月6日)

青い空に浮かぶ 白い雲 127

— CHANGE は CHANCE — 東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

学校改革 と 学力向上に向けた取組み

東大和市立の小学校・中学校の学力向上策が変わる中で、学力調査の結果も確実に向上しつつあります。

各学校における授業研究、分析、指導法の改善・工夫、保護者の協力、地域の協力、教育委員会との連携等々、教育委員会、学校、保護者、地域が一丸となって児童・生徒の学力向上に向けての取組みを進めてきたその成果であることは間違いありません。

さらに、学校から届く研究報告書のスタイルも変わってきました。以前と変わったのは、授業を丁寧に分析し、明らかになった課題を解決するために、再度授業改善に取組み、その効果を明らかにした上で他校に提供するという点です。

授業改善に向け、校内が一丸となって授業改善に取組もうとする校長の経営意欲の賜物です。

研究報告書等から

- ルールの確立「授業における共通指導事項の確立」 **全職員で徹底**
教師は毅然とした態度で指導をする / ほめることも叱ることも分かりやすく伝える
始業、終業の挨拶をしっかりする ほか
- 東大和市小中一貫教育共通プログラムの **徹底**
- **課題から**授業スタイルを改善していく (過去の授業改善がうまく行かなかった理由を明らかに)
- 家庭学習の定着のために、具体的な指導を**継続的**に行う
- **外部と連携**した教育活動を充実する (緊張感が味わえ、礼儀等を重んずるきっかけとなった)

☆ 「多くの課題の中で、ターゲットを決め、必ず解決する(結果を出す)姿勢で学校経営に臨むことを常に意識した。」

前 東大和市立第五中学校 山本 武 校長 (現多摩市教育委員会指導室長)

☆ 「漠然とした発問ではなく、より具体的な発問へと改善することが大切。2項対立の質問へと工夫することで、子どもたちが考えを進めやすく話し合いも活発になった。」
第三小学校の研究冊子 (前期報告書)

CHANGE は CHANCE !

GからCに それもほんの少し変えるだけで チャンスが生まれる

「モノレール読書」

このところ多摩モノレールの乗車人数が増加し、立川南駅を出てから立飛駅までは座れなくなってしまった。「モノレール読書」は、私が勝手に付けたことで、モノレールに座ったところからわずか5分間の読書タイム。

友人の紹介で先日まで読んでいた 原田マハさん著書『本日はお日柄もよく』の中に見つけた言葉が、この「CHANGE は CHANCE」。今の世の中、同じ事を繰り返しているだけでは時代の流れに押し流されてしまう。

経営は同じことの繰り返しではなく「CHANGE」することが大事で、その先に新しいチャンスが見つかるもの。ほんの少しの変化であってもチャンスは生まれる。

そのチャンスを見逃さず、2倍にするのが経営センスと経営力だと思いながら、読み終わるまでになんと2ヶ月。

気がつけば読書の秋、モノレール読書のんびり読書…